

長崎県地方卸売市場長崎魚市場事業経営戦略

長崎魚市場

- ・開設者:長崎県(昭和33年~)
- ・平成元年 新長崎漁港(三重地区)へ移転
- ・長崎魚市場特別会計による運営



事業経営戦略(R3年度~R13年度)

基本方針

- ①産地間競争力の強化・推進
- ②安全・安心なブランドとしての魚価向上
- ③中国をはじめとする東アジアへの輸出拡大
- ④特別会計の健全化

投資・財政計画

- ①計画的、効率的な施設修繕を行うことによる経費の平準化
 - ・新施設整備をR5年度までに完了
 - ・効率的な修繕計画・管理資産縮小による経費削減
- ②取扱高及び施設の有効利用による使用料収入の増加
 - ・製氷施設(シャーベット氷)等を充実し魚価向上
 - ・高度な衛生条件が求められる水産物輸出の拡大
 - ・新たな収入の確保(高度衛生管理使用料等)
- ③市場施設の効果的かつ効率的な管理の実施
 - ・ICTを活用したスマート化による市場取引の効率化・省人化

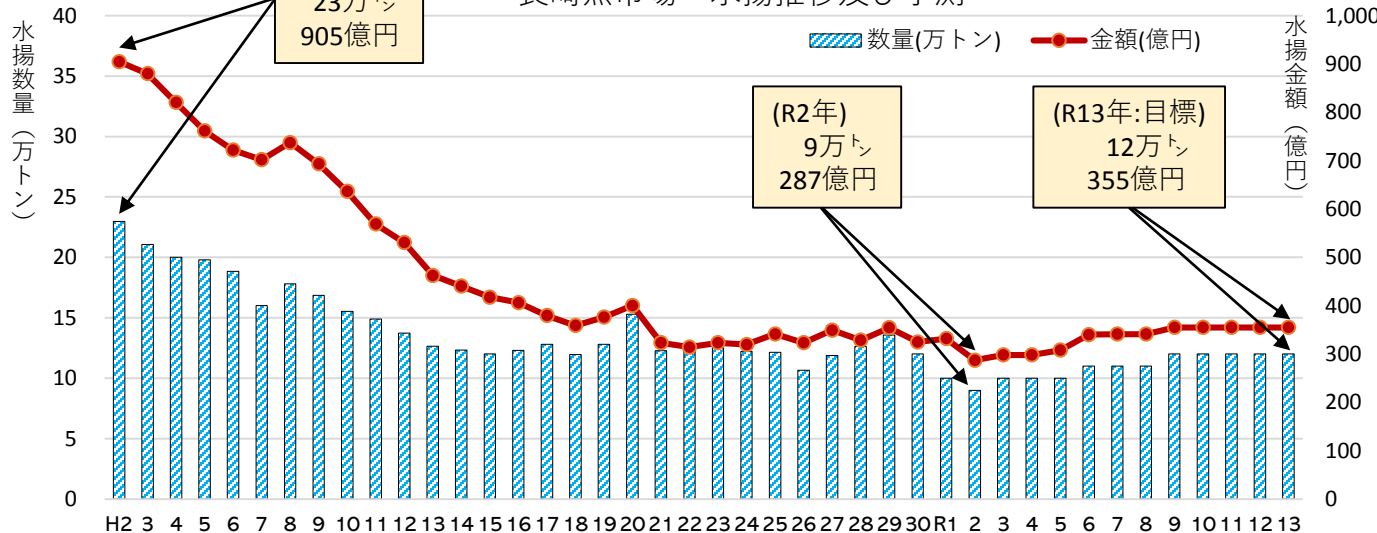
○現 状

- ・国内物、輸入水産物減による取扱高減少
(H2年:23万ト、905億円⇒R2:9万ト、287億円)
- ・施設の老朽化(平成元年移転から31年経過)
- ・使用料収入減少(H2年度:2.75億円⇒R2年度:1.47億円)
- ・H23年度~R5年度にかけて高度衛生化施設整備を実施中(進捗状況69%)

○課 題

- ・漁獲物の衛生的取扱に対するニーズの高まり
- ・計画的・効率的な魚市場特別会計運営の必要性

長崎魚市場 水揚推移及び予測



目 標

- ◎取扱量・金額の増
R2 : 9万ト、287億円
⇒ R13 : 12万ト、355億円
- ◎使用料収入の増
R2 : 1億4千7百万円
⇒ R13 : 1億8千9百万円)